

2023年11月13日

各位

上場会社名 ロイヤルホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 阿部 正孝
(コード番号 8179)
問合せ先責任者 財務企画部 IR担当部長 鈴木 唯士
(TEL 03-5707-8873)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月4日に公表いたしました2023年12月期（通期）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2023年12月期（通期）の連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	134,000	5,200	4,000	3,600	67.97
今回予想（B）	137,800	6,000	5,000	3,800	72.02
増減額（B－A）	3,800	800	1,000	200	
増減率（%）	2.8	15.4	25.0	5.6	
（ご参考）前期実績 （2022年12月期）	104,015	2,192	2,156	2,754	52.86

修正の理由

2023年8月4日に公表いたしました2023年12月期（通期）の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことを受けて社会経済活動の正常化が進む一方で、賃上げを上回る物価上昇が個人消費に及ぼす影響を慎重に判断し、夏季繁忙期間の売上高は期初の想定と同水準となること、ならびに、持続的成長に向けた設備投資や人的資本投資の実施による費用支出を前提に算定いたしました。

しかしながら、雇用や所得環境の改善に伴い個人消費拡大の機運が高まり、あわせて、訪日外国人客の増加も業績を下支えし、売上高は想定を上回る水準で推移しております。また、行動制限が緩和された環境下で迎えた夏季繁忙期間においては、一部で台風等の悪天候による影響を受けたものの、各事業セグメントにおいて、売上高は好調な推移となりました。加えて、原材料価格上昇の継続や持続的成長に向けた設備投資や人的資本投資の実施による費用支出を見込むものの、増収と各種経営施策による収益性の改善が寄与し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見通しとしております。

なお、直近の営業状況等につきましては、本日（2023年11月13日）公表いたしました「2023年12月期 第3四半期決算説明資料」をあわせてご参照下さい。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上